

【国立市】

■実施日時：令和3年11月25日（木）10：00～12：00

■参加部署：福祉総務課福祉総合相談係、児童青少年課児童・青少年係、子育て支援課子ども総合相談担当、市社会福祉協議会

■実施内容（取組状況の共有、情報交換等）

（ひきこもり支援の中心部門）

- くにサポ（子ども総合相談）、ふくふく窓口（福祉総合相談・生活困窮者自立相談支援機関）
 - ・ 18歳未満が「くにサポ」、それ以上は「ふくふく窓口」で相談を受け付ける。
 - ・ ふくふく窓口では、生活困窮者自立支援制度の位置づけで学習塾を市内2カ所で開催している。
 - ・ くにサポでは、子ども家庭支援センター的なケースを扱う事もあり、自宅への訪問だけでなく場合によっては病院同行も行っている。

（市の動き）

- 「支援調整会議」と「子ども若者支援会議」の2つの会議でプラットフォームの形になっている。「支援調整会議」は月1回。
- 不登校支援については、福祉スタッフと学校のパイプラインを構築中。
- 「ひきこもりサポート事業」
居場所支援、家族会、当事者会の活動支援を行っている。

（家族会）

- 「くにたち不登校・ひきこもり家族会」ひきこもりの地域家族会連絡協議会
市社会福祉協議会が窓口となっている。市外の参加者もいる。勉強会とリフレッシュが目的となっている。

（当事者会）

- 「からふらっと」
もともとは「輪かち逢い」という依存症の当事者会から派生した当事者会。ひきこもりだけでなく生きづらさを抱えた人向け。日中の居場所を目的に開かれ、市社会福祉協議会が協力して開催している。

（他機関との連携）

- 民生委員が個人で開いている居場所があり、ふくふく窓口、市社会福祉協議会から案内することがある。
- 市社会福祉協議会では、耕作したものをくにたち福祉会館で販売し、売り上げからアルバイト代を支払うソーシャルファームのような活動を目指している。
- 就労準備支援での社会体験。
 - ・ NPO法人育て上げネットに委託し、週3日のフリースペース、図書館での返却作業や市社会福祉協議会と一緒に農園作業などを行っている。

■実施後のひきこもりサポートネットと自治体の連携

困難ケースの共有とフィードバック、2回目の交流会を実施予定